

株式会社ファミリーマート御中

夢の掛け橋募金 2019年第1四半期 報告書

国連WFP ミャンマー連邦共和国における学校給食支援



特定非営利活動法人

国際連合世界食糧計画WFP協会

はじめに：ご支援の御礼

国連WFPは、飢餓のない世界を目指して活動しています。

平素より、国連WFPの活動に温かいご協力を賜り、ありがとうございます。

ファミリーマートのお客さまや、各店舗の皆さまのご理解とご協力により、ファミリーマート夢の掛け橋募金の2019年第1四半期において、ミャンマーの子どもたちの学校給食のために、24,943,197円のご寄付をいただきました。これは、831,439人の1日の給食に相当します。心より御礼申し上げます。

学校給食により、親が子どもたちを積極的に学校に通わせるようになり、子どもたちは空腹が満たされ、集中して勉強することができます。教育を受けることで子どもたちは将来への夢や希望を持てるようになり、また教育の普及は社会や国の発展にもつながります。

国連WFPは1978年から、ミャンマーで支援活動を行ってきました。

これからも一人でも多くの子どもが国連WFPの活動を通じて学校に通い、未来の担い手として成長できるよう、温かいご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。



事業概要：学校給食支援

事業名	学校給食支援
実施国	ミャンマー連邦共和国
事業期間	2018年1月～2022年12月
事業内容	栄養強化ビスケット（75g、約337kcal）、学校給食の支給
対象者	未就学児童と小学校児童
事業目標	就学率・出席率の向上、中途退学者の減少、学習意欲の向上、飢餓の減少、微量栄養素不足の解消
ご寄付額	2019年度 第1四半期 24,943,197円（2019年3月～5月） プログラムスタート時からのご寄付総額： 277,990,154円（約9,266,338人分の学校給食に相当）

飢餓のない世界を目指して

ミャンマー連邦共和国：支援地の状況



人口	5,148万人 (2015年5月29日発表、出所：ミャンマー国管理・人口暫定発表)
面積	68平方キロメートル (日本の約1.8倍)
民族	ビルマ族 (約70%)、その他130を超える少数民族
主要産業	農業
GDP1人当たり	1,307ドル (2016/17年度、IMF推計)
人間開発指数	188国中145位 (2016年UNDP)

- 人口の24.8%が貧困ライン近く、もしくはそれ以下で生活
- 5歳未満の子どもの29%が慢性的な栄養不良
- 6~23か月の子どもで、食事エネルギーの最低必要量を摂取できているのは16%のみ



飢餓のない世界を目指して

©WFP/Saikat Mojumder



国連WFPの学校給食支援

国連WFPは、約43万人のミャンマーの子どもたちに、毎日学校給食を届けることを目標に活動しています。皆さまからのあたたかいご寄付が子どもたちの笑顔に繋がっています。



配布している栄養ビスケット



©JAWFP

国連WFPは栄養強化ビスケットを子どもたちに配布しています。ビスケットを一回ですべて食べず、分けて食べるため、子どもたちはビスケットを専用のボックスに入れて管理しています。一人ずつ名前が書かれた容器を持っている学校もあります。

子どもたちは授業中にお腹を空かせていることがなくなり、勉強に集中することができています。

国連WFPの学校給食支援



←ミャンマーの一部の小学校では学校菜園の実施しています。その結果、栄養価の高いオーガニック野菜を食べることができています。



↑雨水が貴重な地域では、雨水を溜め、学校菜園に活用しています。



↑ミャンマーでは、未就学児、小学生に学校給食支援を実施しています。

国連WFPの学校給食支援



↑ 学校給食を作るキッチン。
まだまだ設備が整っているとは言えない状況です。



↑ ある日の給食。
一部の学校では温かい給食を提供しています。



学校給食の調理は母親たちのボランティアによって成り立っています。

ただ温かい給食を食べることが出来る学校はミャンマーの中でもごく一部です。

国連WFPの学校給食支援



学校給食支援を行ったことにより、給食の前には手洗いをを行う、食後は歯磨きを行うなど、衛生習慣も身につくようになりました。

子どもたちの手洗い場。
雨水を溜めて活用しています。⇒



国連WFPの学校給食支援

将来は、ミャンマー政府による学校給食事業の運営を目指しています。
いただきましたご寄付は、政府職員、教員などの学校スタッフ、教育委員会へのトレーニングの実施のためにも活用されています。

